

生命環境特別演習

2 units 4th-year(1st semester, 2nd semester)

Hideyuki Nakagawa · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 生体機能に影響を与える可能性のある海洋性生理活性物質の分離・精製の手技・分析方法などを身につける。

Outline) ウニ類および刺毒魚からの生理活性物質の探索を行い、その有用性を基礎生化学実験法を学びながら分析・整理を行い評価する。

Keyword) 海洋生物, 生理活性物質, *sea urchin*, *scorpionfish*, *purification*, *natural toxin*

Fundamental Lecture) “**Bioactive Substance Physiology**”(1.0)

Goal) 実験を通して、生化学的な分析技術を身につけ、分離・精製した生理活性物質の構造的、機能的な特徴を理解する。

Schedule)

1. 実験計画をたてるためのディスカッション 1
2. 実験計画をたてるためのディスカッション 2
3. 海洋性の生理活性物質の研究 1
4. 海洋性の生理活性物質の研究 2
5. 基礎生化学実験 1(蛋白質の抽出)
6. 基礎生化学実験 2(蛋白質の抽出)
7. 基礎生化学実験 3(蛋白質の分析)
8. 基礎生化学実験 4(蛋白質の分析)
9. 生理活性の測定 1
10. 生理活性の測定 2
11. 回収した生理活性物質の応用性 1
12. 回収した生理活性物質の応用性 2
13. 関連した生理活性物質の文献検索
14. 実験結果のまとめ
15. 実験結果の発表
16. 実験計画と実験結果の総括と展望

Evaluation Criteria) 詳しいレポートの提出とプレゼンテーション。

Textbook) 原著論文など

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218758>

Contact)

⇒ Nakagawa (3222, +81-88-656-7259, sea-hide@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 研究室に在室の時はいつでも。)